慣用句 一覧表（早見表）

小4〜中学・大人／覚えておきたい慣用句と意味のまとめ

「上の空」
他のことに心が奪われていて、注意が集中していない状態

「下馬評」
世間一般の人々による評判や批評

「二の舞」
前の人と同じ失敗を繰り返すこと

「二枚舌」
相手によって矛盾したことを言うこと

「朝飯前」
非常に簡単にできること

「水と油」
性質が全く合わず、仲が悪いことのたとえ

「水の泡」
努力や計画がむだになって消えてしまうこと

「火の車」
家計や経営の状態が非常に苦しいこと

「独壇場」
ある人だけが思うままに活躍できる場所

「猫の額」
土地や場所が非常に狭いことのたとえ

「猿芝居」
見え透いた下手な策略や、わざとらしい振る舞い

「胸算用」
心の中で収支や見通しを計算すること

「腕利き」
ある仕事をする能力が優れていること

「腕自慢」
自分の技術や能力が優れていると誇ること

「腰砕け」
勢いよく始めたことが、途中で弱まってしまうこと

「腹黒い」
心の中に悪い考えを持っている

「虎の子」
大切にしていて手放さないもの

「袖の下」
自分の利益のために、こっそり渡すわいろ

「青写真」
将来の計画や見通し

「うり二つ」
二つのものが、見分けがつかないほどよく似ている

「一か八か」
結果がどうなるか分からないが、運を天に任せてやってみること

「一目置く」
相手が自分より優れていると認め、敬意を払う

「二束三文」
数が多くても非常に安いこと

「侃々諤々」
正しいと思うことを堂々と主張して議論するさま

「口が堅い」
秘密をしっかりと守り、簡単にはしゃべらない

「口が悪い」
言葉づかいが荒く、人を傷つけるようなことを言う

「口が滑る」
言ってはいけないことを、うっかりしゃべってしまう

「口が軽い」
秘密を守れず、何でもすぐにしゃべってしまう

「口が重い」
口数が少なく、あまりしゃべらない

「口を出す」
他人の事柄に干渉したり意見を言ったりする

「口を切る」
話し合いなどで、最初に発言する

「口を利く」
言葉を発する、または仲立ちや紹介をする

「口を割る」
かくしていたことを白状する

「口を挟む」
他人の話の途中に割り込んで意見を言う

「口を開く」
今まで黙っていた人が話し始める

「喧々囂々」
大勢が口々に騒がしく言い立てるさま

「図に乗る」
調子に乗って、つけあがること

「堂に入る」
学問や技芸などが十分に上達し、優れている

「如才ない」
気が利いていて愛想が良いこと

「寝耳に水」
不意の出来事に驚くこと

いちごドリル プリント

慣用句 一覧表（早見表）

小4〜中学・大人／覚えておきたい慣用句と意味のまとめ

「尻が軽い」
気軽にすぐ動くこと。また、軽はずみなこと

「尾を引く」
物事が終わった後も、その影響や余韻が長く残る

「心に刻む」
忘れまいとして、深く記憶にとどめる

「心を打つ」
感動させて、深い感銘を与える

「息を呑む」
驚きや感動などで、一瞬呼吸を止めるほど緊張する

「息を殺す」
呼吸の音を立てないようにして、じっと静かにしている

「手が込む」
細部まで念入りに作られていて、複雑である

「手に余る」
自分の力では処理しきれない

「手を切る」
今までの関係を断ち切る

「手を回す」
目的を達成するために、あらかじめ準備や工作をする

「手を引く」
関与していた物事から関係を断つ

「手を打つ」
問題に対して、解決するための対策を立てる

「手を抜く」
やるべきことを省略していい加減にする

「手を焼く」
あつかい方が分からず困る

「手を貸す」
仕事や作業の手伝いをする

「手前味噌」
自分で自分のことを褒めること

「板につく」
その仕事や服装が、その人にぴったり合っていること

「根に持つ」
いつまでも恨みや不満を忘れないでいる

「歯が浮く」
軽薄な言動やキザな様子に不快感や気恥ずかしさを覚える

「気が合う」
考え方や好みが同じで、仲良くできそうだと感じる

「気が短い」
すぐにいらいらして、がまん強く待つことができない

「気が重い」
これからすることを考えると、ゆううつで気が進まない

「気が長い」
のんびりしていて、長い時間でもがまん強く待てる

「気をもむ」
結果がどうなるか心配して落ち着かない

「気を回す」
あれこれと推測して、余計なことまで考えること

「気を張る」
緊張して、気持ちをしっかり引き締める

「気を抜く」
緊張をゆるめて油断する

「気を許す」
相手を信頼して、警戒する気持ちをなくす

「気を配る」
あれこれと細かい点まで注意を払う

「水に流す」
過去のいざこざや嫌なことをなかったことにする

「水を差す」
順調に進んでいることをじゃまする

「油を売る」
仕事や用事の途中でむだ話をして時間をすごす

「泥を塗る」
恥をかかせて名誉を傷つける

「犬猿の仲」
非常に仲が悪く、顔を合わせれば争う関係

「白を切る」
知っていることを知らないふりをする

「目がない」
あるものに夢中になるほど好きだ

「目が利く」
物事の良し悪しを見分ける能力があること

「目が回る」
めまいがする。また、とてもいそがしいこと

「目が泳ぐ」
不安や動揺で、視線が落ち着かない様子

「目が高い」
すぐれたものを見分ける力がある

いちごドリル プリント

慣用句 一覧表（早見表）

小4〜中学・大人／覚えておきたい慣用句と意味のまとめ

「目を疑う」
信じられないものを見て驚く

「目を盗む」
人の見ていない隙にこっそりすること

「目を配る」
全体に注意が行き届くように、あちこちを見る

「眉を開く」
心配がなくなって、ほっと明るい顔になる

「筆が立つ」
文章を書く能力が優れている

「筆を執る」
文章を書いたり絵を描いたりし始める

「糸を引く」
裏から人を操って物事を動かす

「耳が痛い」
自分の欠点や弱点を指摘されて、聞くのがつらいこと

「耳に残る」
聞いた音や言葉が、いつまでも忘れられずに心に残る

「耳を貸す」
相手の意見や相談を親身になって聞く

「肩を叩く」
上の立場の人が、それとなく退職をすすめる

「肩を持つ」
味方をしてひいきする

「肩を貸す」
歩くのが困難な人の脇に寄り添い、支えて歩くのを助ける

「背水の陣」
失敗すれば後がないという状況で、全力を尽くす覚悟

「胸が騒ぐ」
悪い予感がして落ち着かない

「胸に刻む」
忘れまいと心に深く留める

「胸を張る」
自信満々で堂々とした態度をとる

「胸を打つ」
感動させて心を強く揺さぶる

「腕が鳴る」
自分の実力を試したくて、うずうずする

「腕を磨く」
技術や能力をさらに高めるように努力する

「腰が低い」
相手に対して謙虚で、丁寧な態度をとる

「腰が重い」
物事に対して意欲的でなく、なかなか行動に取りかかろうとしない

「腹を割る」
隠し事をせず、ありのままの気持ちを打ち明ける

「腹を探る」
相手の考えや本心を知ろうとする

「膝を打つ」
なるほどと感心したり、急に思いついたりする

「舌が回る」
次から次へとよくしゃべる

「舌を出す」
あざけりや失敗したときなどのしぐさ

「舌を巻く」
あまりのすごさに感心して言葉を失う

「芽が出る」
才能が認められ、成功の兆しが見えること

「芽を摘む」
将来の可能性や発展の芽を早い段階で取り除く

「虎視眈々」
機会をねらって、じっと様子をうかがう様子

「虫がいい」
自分の都合ばかり考えていて、身勝手である

「蚊帳の外」
仲間はずれにされて、物事に関与できない状態にあること

「血が騒ぐ」
興奮してじっとしていられない気持ちになる

「袖にする」
親しくしていた人を冷淡にあしらって相手にしない

「袖を引く」
人に合図をしたり、注意を促したりする

「裏をかく」
相手の予想を裏切るような行動をとって、出し抜くこと

「襟を正す」
気持ちを引き締めて真剣な態度になる

「足が出る」
予算を超えて赤字になる

「足を洗う」
悪い仲間や仕事から縁を切る

慣用句 一覧表（早見表）

小4〜中学・大人／覚えておきたい慣用句と意味のまとめ

「足を運ぶ」
ある目的のために、わざわざその場所へ行く

「身に余る」
自分にはもったいないほどである

「身を引く」
地位や立場から退く、または関係を断つ

「逃げ口上」
追及を逃れるために言う、言い訳やごまかしの言葉

「釘を刺す」
後で言い逃れができないように念を押す

「錦の御旗」
自分の行為を正当化するために掲げる、もっともらしい名目や権威

「錦を飾る」
成功して故郷に帰る、または立派な姿で帰ってくる

「鎬を削る」
互いに激しく争う

「雲泥の差」
非常に大きな違いがあること

「青菜に塩」
元気がなくなり、しょげ返っている様子

「面目躍如」
その人らしい活躍をして、評価を高めること

「頭が固い」
考えが凝り固まっていて、融通がきかない

「頭に来る」
腹が立ってがまんできない

「顔がきく」
顔見知りが多く、特別な扱いを受けられる

「顔が広い」
多くの人と知り合いで、交際範囲が広い

「顔が立つ」
世間に対して面目が保たれる

「顔を出す」
人前に出て活動に参加する、または短時間訪問する

「顔を売る」
自分の名前や存在を広く知られるようにする

「顔を潰す」
相手の面目を失わせるようなことをして恥をかかせる

「首が飛ぶ」
解雇されること

「馬が合う」
相手と気が合って、仲良くできる

「骨を折る」
相手のために一生けん命努力する

「鯖を読む」
自分に都合がいいように、数を適当にごまかす

「鶴の一声」
多くの議論を一瞬で決めてしまうような、有力者の言葉

「鼻が高い」
誇らしく思って自慢に感じる

「鼻につく」
相手の言動が嫌味で不快に感じられる

「鼻を折る」
相手の自信や誇りをくじいて、恥をかかせる

「鼻を突く」
刺激の強いにおいが急に感じられる

「お茶を濁す」
その場しのぎの言動でごまかす

「お鉢が回る」
順送りに役目や順番が自分に回ってくること

「スズメの涙」
ごくわずかな量のこと

「一杯食わす」
うまいことを言って、まんまと人をだます

「一線を画す」
あるものと他のものとの間に、はっきりとした境界を設ける

「先手を打つ」
相手が行動を起こす前に、あらかじめ対策を講じる

「切羽詰まる」
物事が差し迫って、どうにも逃げ場がなくなる

「口がうまい」
相手をその気にさせるような話し方が上手である

「口を添える」
他人の話に言葉を付け加えて、うまくいくように取りなす

「口を糊する」
やっとのことで生計を立てること

「口を閉ざす」
何も言わないようにする

「口火を切る」
物事を始めるきっかけを作る

慣用句 一覧表（早見表）

小4〜中学・大人／覚えておきたい慣用句と意味のまとめ

「口車に乗る」
相手の巧みな言葉にだまされる

「図星を指す」
相手の考えや隠していることを、ぴたりと言い当てる

「土をつける」
負けさせる、敗北させる

「威勢がいい」
元気で活気があり、勢いが盛んである

「尻をたたく」
本人を励ましたり刺激したりして、やる気を出させる

「尻馬に乗る」
他人の言動に便乗して、自分も同じような振る舞いをする

「嵩にかかる」
相手を圧倒するような勢いで強気に出ること

「影を落とす」
ある事柄が後まで悪い影響を及ぼすこと

「後手に回る」
対応が遅れて、相手の動きに追従する形になる

「息が詰まる」
緊張や重苦しい雰囲気で、心理的に圧迫感を感じる

「息を凝らす」
呼吸の音さえさせないようにして、神経を集中させる

「手がかかる」
世話や処理に手間や時間がかかる

「手を借りる」
手伝ってもらう

「手を尽くす」
考えられる限りの手段をすべて行う

「手を広げる」
事業や活動の範囲を大きくする

「手を染める」
ある物事に関わり始める

「手玉に取る」
相手を思い通りに操る

「折に触れて」
機会があるごとに、その時々で

「折り紙付き」
品質や価値が確かであると保証されていること

「根を詰める」
休まずに長い時間、熱心に物事を行う

「棚に上げる」
自分の欠点や失敗を問題にせず、知らん顔をする

「横車を押す」
道理に合わないことを無理に押し通そうとする

「檄を飛ばす」
自分の考えを広く知らせ、人々に行動を呼びかける

「気が咎める」
自分のしたことに対して良心が痛み、後ろめたい気持ちになること

「気が引ける」
相手に対して申し訳なく思い、自信がなくなる

「気に留める」
注意を払って、心にとどめておく

「気を利かす」
相手の気持ちやその場の状況を察して、気の利いた行動をとること

「気を落とす」
期待外れの結果にがっかりして元気をなくす

「気骨がある」
自分の信念を曲げない強さがあること

「水を向ける」
相手が話し出すように、それとなく誘いかけること

「泥をかぶる」
他人の罪や責任を代わりに引き受ける

「熱を上げる」
ある物事に夢中になってのめり込む

「猫をかぶる」
本性を隠しておとなしく見せかける

「痛しかゆし」
どちらとも決めかねて困る状態である

「目がくらむ」
欲望や強い刺激で正常な判断ができなくなる

「目が肥える」
よいものを多く見て、良し悪しを見分ける力がつく

「目と鼻の先」
距離が非常に近いこと

「目をかける」
気にかけてかわいがり、世話をすること

「目をつぶる」
相手の過ちや欠点を見ても、気づかないふりをして許す

「目を向ける」
ある対象に関心を持ち、注意を払う

いちごドリル プリント

慣用句 一覧表（早見表）

小4〜中学・大人／覚えておきたい慣用句と意味のまとめ

「目処が立つ」
物事の達成や解決の見通しがつく

「目端が利く」
その場の状況や必要を素早く察して、うまく立ち回ることができる

「相槌を打つ」
相手の話に合わせて、調子を合わせてうなずく

「穴を埋める」
欠員や不足分を補って、全体の状態を元通りにする

「羽を伸ばす」
束縛から解放されて、のびのびと心身を休める

「羽目を外す」
調子に乗って度を越し、大騒ぎをすること

「耳に入れる」
情報を聞いたり、知らせたりする

「耳をすます」
音を聞き漏らさないように、注意して聞く

「耳をふさぐ」
聞きたくないという気持ちから、聞くことを拒む

「耳を傾ける」
相手の話を熱心に聞こうとすること

「肝が据わる」
物事に動じず、度胸がすわっている

「肝に銘じる」
深く心に刻み込んで忘れないようにする

「肝をつぶす」
非常に驚いて恐ろしくなること

「肝を冷やす」
思いがけない危険にひやりとする

「肩を並べる」
実力などが同じくらいになる

「肩を落とす」
がっかりして元気をなくす

「肩入れする」
特定の側をひいきして、援助や支持をする

「肩身が狭い」
世間に対して面目が立たず、引け目を感じる

「背を向ける」
関心を示さなくなったり、協力や支持をやめたりする

「胸がはずむ」
期待や喜びで心がわくわくする

「胸が潰れる」
悲しみや心配で、たまらなく苦しくなること

「胸に秘める」
心の中にしまっておいて、人には言わない

「胸を借りる」
自分より実力が上の相手に練習の相手をしてもらう

「胸を焦がす」
あることを強く思い、じれったく思ったり切なく思ったりすること

「胸襟を開く」
心を開いて、隠し立てせずに打ち明ける

「腕が上がる」
技術や能力が上達する

「腕を振るう」
持っている能力や技術を十分に発揮する

「腰を上げる」
やっと物事に取りかかる。行動を始める

「腰を抜かす」
あまりの驚きに、立っていられなくなる

「腰を据える」
一つの場所に落ち着いて、長い期間取り組む

「腹をくくる」
どんな結果になっても仕方がないと覚悟を決める

「腹を決める」
迷うのをやめて、あることを実行しようと決心する

「腹を立てる」
怒りの感情をあらわにする

「膝を屈する」
相手に負けを認めて従うこと

「舌を鳴らす」
舌で音を立てて、不満を表す。また、おいしさや感心を表す

「舌鼓を打つ」
美味しいものを食べて満足する

「花を添える」
物事に華やかさや趣を加えて、より一層引き立てる

「虫の知らせ」
悪いことが起こるような予感がすること

「見切り発車」
十分な準備や検討をしないまま、物事を開始すること

「見得を切る」
歌舞伎で動きを止めてポーズをとる。また、自信ありげに大げさな態度をとる

いちごドリル プリント

慣用句 一覧表（早見表）

小4〜中学・大人／覚えておきたい慣用句と意味のまとめ

「見栄を張る」
実際以上に自分をよく見せようと振る舞う

「言葉を濁す」
はっきりと言わず、あいまいに言い逃れる

「足がすくむ」
こわさやきんちょうで、足が動かなくなる

「足元を見る」
相手の弱みにつけ込む

「身を寄せる」
頼る所がなく、他人の家に住まわせてもらう

「輪をかける」
ある物事の程度がさらに甚だしくなるようにする

「青天の霹靂」
突然起こる思いがけない出来事

「面目を失う」
世間に対する名誉や体面を傷つけられる

「面目を施す」
名誉を保つ、または面目を立てる

「頭が下がる」
相手の行いに感心して尊敬する

「頭が切れる」
非常に頭の回転が速く、鋭い判断力がある

「頭を丸める」
出家する、または責任をとって辞職や謝罪をする

「頭を冷やす」
興奮を鎮めて冷静になる

「頭を悩ます」
ある問題について、どうすればよいかと思い苦しむ

「頭を抱える」
どうすればよいか分からず困る

「頭角を現す」
才能や実力が認められ始める

「顔が売れる」
広く知れ渡って有名になる

「顔をつなぐ」
知人との関係を保つために、時々会ったり連絡をとったりする

「鸚みに倣う」
善悪の判断をせず、ただ他人の真似をする

「顰蹙を買う」
言動によって周囲から嫌悪や軽蔑の念を抱かれる

「骨が折れる」
仕事などが困難で苦労する

「骨を埋める」
その土地や仕事に一生を捧げる覚悟で定住すること

「高をくくる」
相手や物事を軽く見て大丈夫だと判断する

「鳥肌が立つ」
恐怖や寒さ、感動などで皮膚がぶつぶつになる

「鼻にかける」
自分の才能や自慢できることを得意になって見せびらかす

「鼻を明かす」
相手を出し抜いて、あっと言わせる

「鼻息が荒い」
意気込みが激しく、自信に満ちている様子

「さじを投げる」
見込みがないとあきらめて、対処をやめる

「一泡吹かせる」
相手を驚かせたり、慌てさせたりして、ぎゃふんと言わせる

「一矢を報いる」
相手からの攻撃に対して、わずかでも反撃や抵抗をする

「下駄を預ける」
物事の決定や処理を相手に一任する

「二の足を踏む」
ためらって、なかなか決心がつかない

「出鼻をくじく」
何かを始めようとする勢いを途中でそぐこと

「取り越し苦労」
まだ起こっていないことに対してあれこれと心配すること

「口をそろえる」
大勢の人が、みんな同じことを言う

「口を尖らせる」
不満や不機嫌な気持ちを顔に出す

「天秤にかける」
二つ以上の事柄を比較して、どちらが良いか検討する

「太鼓判を押す」
間違いがないと保証する

「尻に火がつく」
物事が差し迫ってきて、落ち着いていられなくなる

「尻切れとんぼ」
物事が途中で中途半端に終わってしまうこと

いちごドリル プリント

慣用句 一覧表（早見表）

小4〜中学・大人／覚えておきたい慣用句と意味のまとめ

「屋台骨が傾く」
組織や生活の基盤が揺らぎ、存続が危うくなる

「心を奪われる」
あるものに強くひきつけられ、夢中になる

「心を鬼にする」
相手のためを思って、あえて厳しく接する

「手に負えない」
相手の勢いや性質が強すぎて、どうにも処理できない

「手をこまねく」
何もせずに見ているだけで、何もしない

「手中に収める」
自分の支配下や管理下に置く

「手塩にかける」
自分で直接世話をして大切に育てる

「手綱を締める」
気がゆるまないよう、人の言動をきびしくおさえる

「手綱を緩める」
厳しく管理していたものを、少し放任して自由にする

「拍車をかける」
物事の進行を一層速める

「揚げ足を取る」
相手の言い間違いや失言を捉えてからかう

「板挟みになる」
対立する二人の間で、どちらにもつけずに困る

「根も葉もない」
全く根拠がないこと

「槍玉に挙げる」
ある人を非難や攻撃の対象として取り上げる

「横槍を入れる」
他人の話や物事に、途中から口出しをして邪魔をする

「歯が立たない」
相手の力が強すぎて、かなわない

「歯ぎしりする」
悔しさや怒りで、どうにもならない気持ちを抑える

「歯に衣着せぬ」
相手に遠慮せず、思ったことをずけずけと言う

「気が気でない」
心配や不安で落ち着かない気持ちであること

「気が置けない」
遠慮する必要がなく、親しく付き合える

「気が遠くなる」
意識がうすれる。また、話が大きすぎてぼうぜんとする

「気を取られる」
他のことに心を奪われて、本来すべきことに集中できなくなること

「気を紛らわす」
他のことをして、苦しい気持ちや退屈な気分をそらすこと

「水魚の交わり」
魚と水のように、切っても切れない親密な交際

「溜飲を下げる」
不平や不満を解消して、胸のつかえが取れてすっきりした気分になる

「火に油を注ぐ」
勢いの激しいものに、さらに勢いを加えるようなことをする

「琴線に触れる」
良いものや感動的なものに触れて心が動かされる

「白黒をつける」
物事の是非や善悪をはっきりさせる

「目をかすめる」
人の見ていない隙を見て、隠れて何かをする

「目を丸くする」
おどろいて目を大きく見開く

「目を光らせる」
不正やミスがないか、厳しく注意して見張る

「目を皿にする」
何かを見つけようとして、目を大きく見開いて熱心に見ること

「目星をつける」
だいたいの見当をつけて、目標を定める

「眉をひそめる」
不快感や心配事のために顔をしかめる

「眉を曇らせる」
心配や不安のために、顔を暗くする

「砂をかむよう」
味わいや面白みが全く感じられないこと

「立つ瀬がない」
自分の立場が悪く、そこにいることができない

「耳をそろえる」
必要な金額をすべて用意する

「耳朶に触れる」
ある事柄を耳にする、聞き知る

「耳目を集める」
多くの人の関心や注目を集める

いちごドリル プリント

慣用句 一覧表（早見表）

小4〜中学・大人／覚えておきたい慣用句と意味のまとめ

「胸が熱くなる」
感動して、こみ上げてくるものがある

「腑に落ちない」
納得がいかず、合点がいかない

「花を持たせる」
相手を立てて、功績や名誉を譲る

「虎の尾を踏む」
とても危ないことをする。大きな危険をおかすたとえ

「血も涙もない」
思いやりや情け心が全くなく冷酷である

「血道を上げる」
ある物事に夢中になり、他のことが手につかなくなること

「袋小路に入る」
行き詰まって、それ以上進展しなくなること

「見る目がある」
物事の良し悪しや価値を正しく判断する能力がある

「話の腰を折る」
人の話や仕事の調子を途中で妨げる

「足が棒になる」
歩きすぎて足がこわばり、疲れてしまう

「足を引っ張る」
仲間の成功や前進をじゃまする

「身を粉にする」
ある物事のために、苦労をいとわず懸命に働く

「逆鱗に触れる」
目上の人を激しく怒らせる

「釘付けになる」
ある一点から目が離せなくなる

「閑古鳥が鳴く」
客が来ず、商売がひっそりとしていて寂しい様子だ

「間髪を容れず」
少しの時間もおかずに、すぐに行うさま

「音に聞こえる」
評判が広く世間に知れ渡っている

「音沙汰がない」
便りや連絡が全くない

「頬を膨らます」
不満や怒りを感じて、口を閉じて頬を突き出す

「頭打ちになる」
物事の成長や上昇が限界に達し、それ以上伸びなくなる

「顔に泥を塗る」
恥をかかせて名誉を傷つける

「首が回らない」
借金などが多すぎて、お金のやりくりがつかない

「首をかしげる」
疑問に思ったり、納得がいかなかったりする

「首をつっこむ」
ある物事に関係を持ったり、関与したりする

「首を長くする」
期待して待ちわびる

「骨身に染みる」
経験や教訓などが深く心に刻まれる

「鵜呑みにする」
物事の真偽を確かめずに、そのまま受け入れる

「鼻っ柱が強い」
気が強く、自分の意見を曲げない

「鼻であしらう」
相手を馬鹿にして冷淡な態度をとる

「二の舞を演じる」
前任者や他人の失敗と同じ失敗を繰り返す

「口裏を合わせる」
前もって相談し、言う内容を一致させる

「大きな顔をする」
いばった態度をとる

「手に汗をにぎる」
見たり聞いたりして、はらはらどきどきする

「手のひらを返す」
態度や言動が急にがらりと変わる

「手も足も出ない」
相手が強すぎて、どうすることもできない

「木で鼻をくくる」
相手に対して、ひどく冷淡な態度をとる

「歩調を合わせる」
他人の行動や考え方に合わせて、自分も行動する

「歯を食いしばる」
苦しさや悔しさをこらえて、懸命に耐える

「水を打ったよう」
大勢の人が急に静まり返る様子

「爪に火をともす」
非常にけちで、苦労して節約する

慣用句 一覧表（早見表）

小4〜中学・大人／覚えておきたい慣用句と意味のまとめ

「甲乙つけがたい」
どちらも優れていて優劣を決めにくい

「白羽の矢が立つ」
多くの人の中から選ばれること

「目の色を変える」
ある物事に熱中したり、激しい感情をあらわにしたりする

「目を三角にする」
怒って、目を吊り上げて険しい表情をすること

「目を白黒させる」
おどろいたり苦しんだりしてあわてる

「眉に唾をつける」
だまされないように用心する

「肩の荷が下りる」
責任や負担から解放されてほっとする

「肩透かしを食う」
相手が拍子抜けするような態度をとり、期待外れになる

「背筋が寒くなる」
おそろしさのあまり、ぞっとする

「胸をなでおろす」
心配がなくなって、ほっと安心する

「腕に覚えがある」
自分の技術や能力に自信がある

「腹に据えかねる」
怒りを抑えることができず、我慢の限界に達する

「腹を割って話す」
隠し事をしないで、本心をありのままに話す

「見切りをつける」
これ以上続けても無駄だと判断して、あきらめる

「身につまされる」
他人の不幸や苦しみを、自分のことのように感じて切なくなる

「身の毛がよだつ」
恐ろしさや不気味さで、ぞっとする

「頭が上がらない」
相手に対して引け目や恩義があり、対等に振る舞えないこと

「顔から火が出る」
恥ずかしさで顔が真っ赤になる

「顔向けできない」
恥ずべきことをして、相手に合わせる顔がないこと

「顔色をうかがう」
相手の機嫌や様子を気にして、自分の言動を決める

「鼻持ちならない」
相手の言動が自慢たらしく、我慢できないこと

「のどから手が出る」
欲しくてたまらない様子

「二の句が継げない」
あきれたり驚いたりして、次の言葉が出てこないこと

「口を酸っぱくする」
同じことを何度も繰り返し注意する

「後ろ指を指される」
陰で他人から非難されたり悪口を言われたりする

「後ろ髪を引かれる」
心残りで、きっぱりと諦めきれない気持ちになる

「折り合いをつける」
互いに譲り合って妥協点を見つける

「猫の手も借りたい」
非常に忙しくて、誰でもいいから手伝ってほしい状態である

「目から鱗が落ちる」
何かのきっかけで、急に物事の道理がよく分かるようになること

「目くじらを立てる」
小さなことを取り上げて、きびしくとがめる

「目の上のたんこぶ」
自分より上の立場や実力で、じゃまに感じる人

「耳にタコができる」
同じことを何度も聞かされてうんざりする

「腕によりをかける」
実力を発揮しようと意気込んで準備する

「膝を突き合わせる」
向かい合って、本音でじっくり話し合う

「足並みをそろえる」
物事を進めるときに、歩調や態度を合わせる

「身の置き所がない」
恥ずかしさや居心地の悪さで困る

「骨身を惜しまない」
自分の労苦をいとわず、ひたすら懸命に働くこと

「枚挙にいとまがない」
数が非常に多くて、いちいち数えきれないこと

「火を見るより明らか」
疑う余地がないほどはっきりしている

「腹の虫が治まらない」
腹が立って、どうしても気持ちがしずまらない

いちごドリル プリント